

へき地医療貢献者表彰受彰

鶴岡院長は、昭和 57 年 4 月から 5 年間、旧野村町（現 西予市）に所在する町立野村病院に勤務し、平成 5 年 6 月からは当院で勤務しており、通算で 27 年以上にわたって、へき地医療に貢献しました。

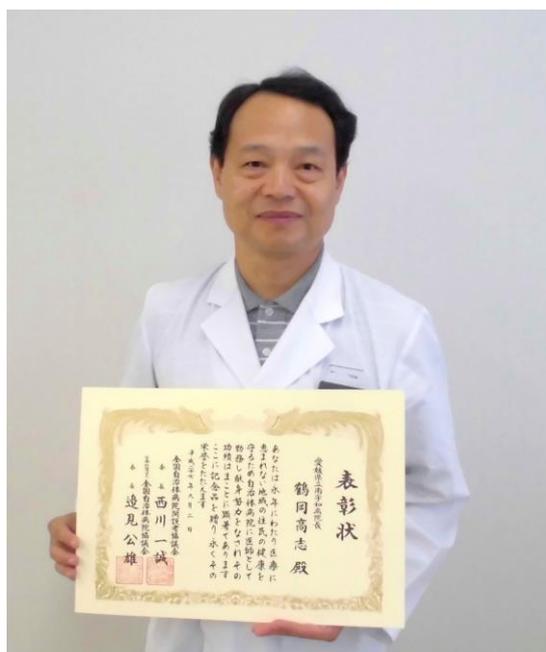


俊野 愛媛県公営企業管理者からの伝達

また、平成 25 年 4 月からは、当院の院長に就任し、高齢化が進み、医師不足が顕著となる愛南地域において、医師会等の協力を得て、病院と診療所間の応援体制を構築するなど、当地の医療体制の維持に尽力しています。

更に、鶴岡院長は、地域医療に従事する医師を確保し、医師の地域偏在の解消を図ることを目的に設置された地域医療支援センターの運営委員会医師確保支部会の委員に就任するなど、愛媛県の地域医療を守るため、医師確保対策にも積極的に協力しています。

このような功績が認められ、この度、全国自治体病院開設者協議会及び公益社団法人全国自治体病院協議会が実施している「へき地医療貢献者表彰」を受彰しました。



受彰した鶴岡 高志 院長